

警察事務職員

警察運営に欠かせない事務を担って県民を守る

人事、会計、給与、福利厚生等の組織運営業務から、遺失物・拾得物の取扱い、車両・装備資機材の整備、運転免許管理、交通管制、鑑識資料の鑑定、警察組織独自システム開発など、警察ならではの専門性の高い業務まで幅広い業務を行います。警察組織の中核を担い、警察活動を支え、警察官と共に愛媛の安全・安心を守ります。



私の1日 / 警察事務

- 8:30 ● 勤務開始
- 9:30 ● 事務処理
(福利厚生・文書管理・
来客対応)
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 事務処理
(遺失物対応、拾得物管理)
- 15:00 ● 事務処理
(スケジュール管理)
- 16:00 ● 書類整理
- 17:15 ● 勤務終了

正しい知識と経験を積み、 信頼される職員になりたい!

2020年採用 / 警察署

就職活動をしていたときに警察官の兄から「警察事務という仕事がある。」という話を聞き、目指そうと思いました。今は主に遺失・拾得業務を担当しています。警察署などに届けられた落とし物の内容を確認し、必要な情報をシステムに入力した後、遺失の届出の有無を調べます。届出がない場合でも、何か手掛かりを見つけ、落とし主に連絡を取るよう努力しています。大切な物が戻ってきた持ち主が喜んでる姿を見ると、私も自分のことのように嬉しくなります。まだまだ分からないことばかりですが、正しい知識を身に付け、経験を積み、周りから信頼される職員になることが目標です。



相手に寄り添う気持ちが大切

警察署を訪ねる人の中には、大きな不安を抱えている人も少なくありません。アルバイトでの接客経験を生かし、相手に寄り添いながら話を聞き、業務を進めることを心掛けています。

ビジネススキルを最大限に生かす

事件捜査や災害救助活動など最前線で活動する警察官とは異なり、警察事務職員の仕事の大半はデスクワークであるため、パソコン操作や書類作成、情報収集などのスキルが重宝されます。



Uターン&Iターン

— 経歴や道のりは人それぞれ。でも、警察官として愛媛を愛する気持ちはみんな同じ! —



実家も近くなり、 故郷での生活は快適

2015年採用 / サイバー犯罪対策課

神奈川県でシステムエンジニアをしていたときから「いつか生まれ育った愛媛に戻りたい」という気持ちがあったのですが、東日本大震災の後、「有事の際に家族のそばにいたい」という思いが強くなり、Uターンを決意しました。前職を生かせる転職先を探していたところ、愛媛県警がサイバー犯罪捜査官を募集していると知り、応募しました。住み慣れた愛媛での生活は快適ですね。週末には子どもを連れて気軽に実家に行けるので、両親との距離がとて近くなりました。



愛媛の方々の温かい 人柄が大好きです!

2015年採用 / 生活安全課

佐賀県出身の私は高校卒業後、憧れの警察官を目指して公務員専門学校に1年間通いました。しかし当時、地元県警も考えましたが、四国の中で最も人口が多く、経済規模も一番大きい愛媛に魅力を感じ、愛媛県警を受験しました。愛媛は見知らぬ土地でしたが皆さん人柄が温かく、警察官になってから友人や知人がたくさんできました。愛媛にIターンして本当に良かったと思います。



学生時代を過ごした 愛媛に恩返ししたい

2017年採用 / 機動隊

私の地元は香川ですが、大学生活の4年間を愛媛で過ごしました。就職活動をしているときにサークルOBの警察職員から声を掛けられ、「4年間お世話になった愛媛に恩返ししたい」と思い、愛媛県警に入りました。愛媛は気候的にも環境的にも住みやすく、家賃が安いのも魅力ですね。大学卒業後実家に戻らず、親に頼らない自立した生活を送ることで、社会人としての責任感が増したと思います。また地元を離れて仕事をしていると、知らない人とのつながりが増え、日常生活が一層充実しました。

充実した制度&同僚の理解で、女性警察官が活躍中!

ライフイベントと仕事を 両立できる職場

2010年採用 / 警務課

女性警察官のメリットは、女性やお年寄り、子供に安心感を与えられるところ。このメリットを生かし、女性の来庁者などに率先して対応しています。現在、子供が二人おり、育児休業明けは仕事と子育てを両立できるか不安でした。しかし「子の看護休暇」や「未就学児童養育中の深夜勤務の免除」などの制度と、職場の上司・同僚のサポートのおかげでしっかり両立できています。子育てをしながら、警察官として活躍できる環境が整っています。

